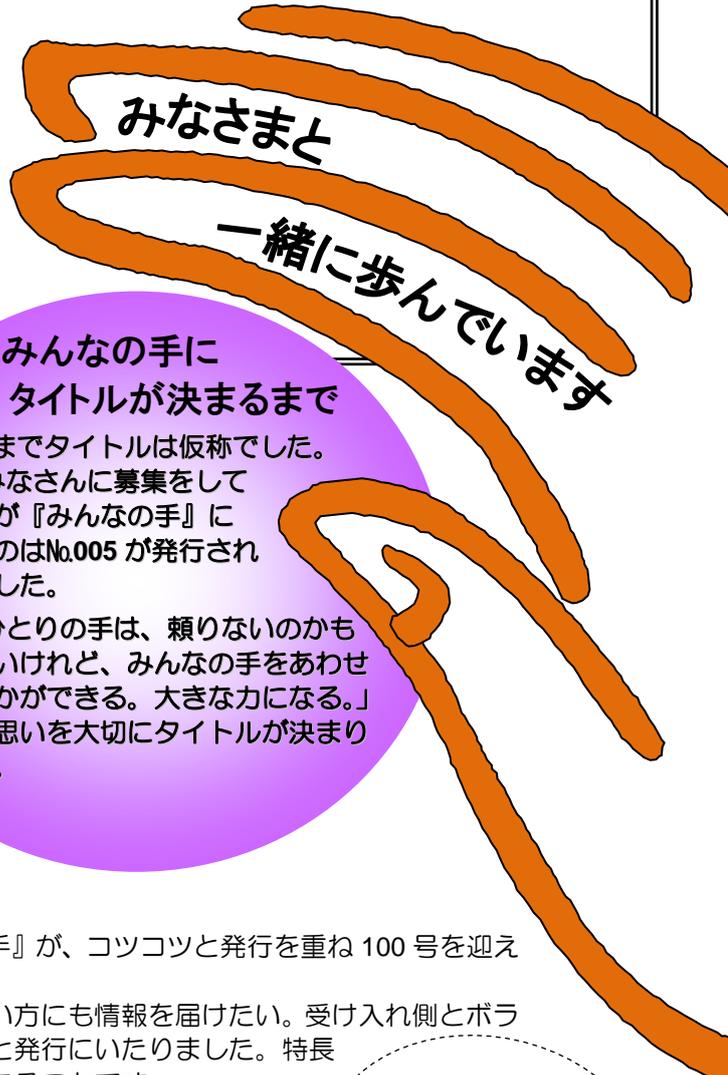
～ボランティア情報誌～

みんなの手

100号発行記念号
6月号
平成23年5月23日発行

社会福祉法人入間市社会福祉協議会
入間市ボランティアセンター
入間市豊岡4-2-2　入間市市民活動センター
『愛称：イルミン』１階
【Tel】04-2964-0486【Fax】04-2963-1072
【HP】http://www.iruma-shakyo.or.jp
【Eメール】iruma_vc@atlas.plala.or.jp
【担当】利光・鈴木

みなさまと
一緒に歩んでいます

ボランティア情報誌『みんなの手』

「みんなの手」は、平成14年4月30日に創刊されました。

ボランティア活動に関する様々な情報をタイムリーにお届けしたいとの思いから、たくさんのスタッフの手をかりて、この情報誌を発行してきました。
そうやって100号を迎えることができたのです！
みんなありがとう！

みんなの手にタイトルが決まるまで

№004までタイトルは仮称でした。市民のみなさんに募集をしてタイトルが『みんなの手』に決まったのは№005が発行されたときでした。

「一人ひとりの手は、頼りないのかもしれないけれど、みんなの手をあわせれば何かができる。大きな力になる。」そんな思いを大切にタイトルが決まりました。

『みんなの手』100号記念に寄せて

私が学生のときに創刊した『みんなの手』が、コツコツと発行を重ね100号を迎えたことをとても嬉しく感じています。
ボランティアをしたいけれど情報がない方にも情報を届けたい。受け入れ側とボランティアをやりたい方の架け橋になればと発行にいたりました。特長は、そのつくり手もボランティアさんであることです。
みんなで作る『みんなの手』。もちろん素人集団、何もかもが手探りの中、それぞれの出来ることをやる、それだけでした。きっと、とりまとめ役の社協職員さんは大変だったと思います。
進学の都合で『みんなの手』から離れましたが、数年後自身の職場（障がい児☆児童クラブ「ぽしぇっと」）のボランティア募集を掲載させてもらいました。そんなつながり方も良いかなと思いながら・・・。
これからも多くの方の架け橋となることを期待しています。　阿利 澄江

阿利さんは、狭山特別支援学校に通う子どもたちが利用する学童保育室、障がい児☆児童クラブ「ぽしぇっと」でお仕事をしています。

ボランティア募集 「はじめてみよう ボランティア活動」を中刷りにしています。福祉団体をはじめ、さまざまなボランティア情報を掲載し、たくさんの方が情報を活用しています。

イベント情報 ボランティア関係、福祉施設のイベントなどをお知らせしています。

助成金情報 活動の助けになる助成金の情報をお知らせしています。

ゆずります 「おゆずりします！」という品々を橋渡ししています。今号はたくさん掲載しています。

連 載 上野恵利さんのイタリアでの活動報告を2008年9月号より掲載中。福祉のこと、日本とイタリアの違いなど幅広く、そして解りやすく伝えています。

みんなの手 100 号発行記念講演（5/30）の講師として、シモーネさんの体験や地域福祉についてお話しいただく予定でした。
東日本大震災の影響により講演会が中止となったため、「みんなの手に原稿を！」とお願いしたところ快くお引き受けいただき、**シモーネさんのお話し**としてみなさまに読んでいただくことになりました。

シモーネ・ソリア氏 プロフィール

1979 年イタリア、レッジョ・エミーリア州モデナ市生まれ
エンジニア、有限会社 AIDA（アイーダ）社長

自身も痙性四肢麻痺障がいがありながら、障がい者と高齢者のための手を使わずに体の一部でマウスを操作するソフトの開発、販売をてがける。

シモーネさんのお話し

思うに、すべての人が生まれたときからすでに人生のテーマを与えられている。その人の運命と共に。でもそれが何かはすぐにはわからない。「これが自分の人生のテーマだ」と思っても、それを大きく覆すような出来事が起きて「それじゃあ今まで思ってきたことは間違っていたのか」「自分は何のために生まれてきたのか」「なんでここにいるんだろう」と考えさせられることになる。

1979 年、15 歳のお母さんと 18 歳のお父さんから僕は生まれた。
彼らは他の人と同じように普通の子供を望んでいた。そして生まれてくる子供の将来の計画を立てていた。僕が生まれて数日後、彼らに知らせが届いた。内容は「あなた方の息子さんは身体障がい者です」。それは彼らにとって夢の全てを消し去るような恐ろしい知らせだっただろう。そしておそらく彼らは思った。「今まで思ってきたことは間違いだったのか」「自分は何のために生まれてきたのか」。
だけど僕の両親は、強かった。息子への計画を考え直して、僕を健常者と同じ様に育てた。

幼稚園、小学校と僕は他の健常の子供達と一緒に彼らと同じ学校に通った。他の子達は筆記用具を使って字を習うところを僕はパソコンを使って、それを操作する大きなボタンを頭で押して文字を習った。「頭で押す」とは、僕は手が使えないからだ。遊びについても他の子達と一緒にサッカーをして遊んだ。僕はよくゴールキーパーをしていた。キーパーは座ったままでもできる。座ったままというのは、僕は足も動かないからだ。話すことについてもうまく発音することができない。だけど友達は僕の言っていることをよく理解していた。僕は彼らとよく遊び、彼らの中で居心地がよかった。こんなふうに、手足が動かず発音が悪くても他の人と一緒にいることを学んだ。

小学校の後 11 歳から 13 歳までやはり彼らと同じように中学校に通った。しかし 13 歳のイタリアの子供たちは多感で残酷だ。多くのクラスメートたちは自分を「ちがうもの」として見ていた。とても悲しかった。そして思う。「今まで思ってきたことは間違いだったのか？」・・。しかし僕には 3，4 人のとても重要な友達がいた。そして中学校の後半には自分のことを好きだと言ってくれるガールフレンドも出来た。それが支えになった。絵やチェスも学び始めた。チェスは強く成績もよかった。これならＯＫ、僕は障がいがあるけれど他の子よりも優秀だ。いける！

その後、高校、大学と進学した。大学は情報工学科を首席で卒業した。大学卒業後コンピュータープログラマーとして企業へ就職した。しかし、ひとつの大きな問題に突き当たった。それは自分の身の回りのことをケアするアシスタントの問題だ。学生のときもこの問題は常にあったけれど、会社で働き出すとさらに大きくなった。この問題から仕事を継続することは難しいと感じ、仕方なく会社を辞めた。このときもショックが大きかった。夢が全て破れたような気がした。そしてまた思う。「今まで思ってきたことは間違いだったのか」。

しかし仕事を辞めた後、心を落ち着けて考えた。「自分は障がい者だ。だけど幸運なことに大学で勉強することができ、PC のソフトを作るエンジニアの資格を得た。それならば、他の障がい者のための仕事をしたらいいのではないか？自分の意思を言葉で伝えられない障がい者のための表現するためのソフト。僕は他の障がい者のために生きていく。このソフトを開発し、販売する会社をつくる。これが自分の人生の目的だ。」

そう決めてから「フェイスマウス」という名のソフトを開発した。このソフトはパソコンを使うとき、小型のカメラと一緒に使うことで、体の一部がどこでもマウスになるというソフトだ。その後僕は友達と一緒に会社を立ち上げた。現在は、この会社を経営し、ソフトの販売と改良が自分の仕事になっている。まさに自分が思い描いた仕事をしている。

そして、僕が持っていたもう一つの困難、おそらく女性の伴侶なしで生きていくだろうと思っていたこと、これはえりが快く修正してくれた、と信じている。

・・申し遅れましたが、僕はシモーネ・ソリアといいます。しかしこの名前は今書いた話の主人公の名前であり、あまり重要ではありません。なぜならこの話の主人公には、どんな人でもなりえるからです。その人が障がい者であったとしても、なかったとしても。

シモーネ・ソリア

シモーネさんの原稿の翻訳は上野恵利さんです。
イタリア滞在レポート♡上野恵利♡ はお休みです。来月をお楽しみに！！

毎年関心が高くなる！ 夏ボランティア体験

今年も夏休みを中心とした7月～8月に行われる、市民を対象にボランティア体験への参加募集をします。

自分の住んでいる地域でできる、福祉施設、環境関連、地域密着、技術系など、夏休みを利用して、ボランティア体験してみませんか！

写真は去年の様子です

【体験メニュー】全部で35のメニューを予定
詳しくは6/1発行の社協だよりをごらんください。
【申し込み】6/1（水）～7/6（水）
【事前説明会】7/10（日）午前・午後どちらか
【問い合わせ】 **ボランティアセンター**

アフリカへ毛布をおくる運動

昭和59年より全国で毎年春に毛布及び送料協力金の収集を実施。アフリカの夜はとても寒く、幼い子供は耐える力が無いため、毛布で子どもたちをくるんであげたい！皆ひとつの命だから難民一家に1枚ではなく、一人1枚を目標に！
まだまだ不足しています。

5/28（土）久保稲荷公民館・13:00～16:00
5/29（日）黒須公民館・13:00～16:00
6 / 4（土）東藤沢公民館・13:00～16:00
6 / 5（日）市民活動センター・13:00～16:00
6/11（土）扇町屋公民館・9:00～12:00
6/12（日）藤の台公民館・13:00～16:00
6/18（土）藤沢公民館・9:00～12:00
6/19（日）高倉公民館・13:00～16:00

※次のようなものはお受けできません
穴のあいた毛布、破れている毛布、洗濯していない毛布、綿毛布、ベビー毛布（古着、こたつ敷と掛）
❤送料・募金のみのご協力も受付しています。
【問い合わせ】
アフリカへ毛布をおくる運動
担当：反町 17:00～ TEL:2966-1578

入間市扇台福祉作業所地域公開 ～ふれあいウィーク～

扇台福祉作業所ってどんなところ？そう思ったことはありませんか？

日頃の活動の様子を知っていただきたく、“ふれあいウィーク”を計画いたしました。

作業体験を通して障がいを持った人たちとふれあってみてください！温かい雰囲気と明るい笑顔で皆様をお待ちしていますので、お時間のある時にお気軽にお立ち寄りください。

どうぞ お気軽に
お越しください！

【日時】
6/20（月）～6/24（金）
10:00～15:00
※今年度は5日間を通して公開します。
【体験内容】紙すき、さをり、藍染め、クッキー等
【会場・問い合わせ】
入間市扇台福祉作業所 扇台2-7-26
TEL:2962-5308 FAX:2962-5458

平成 23 年度 助成金情報

くわしい内容については、各団体もしくは、ボランティアセンターへお問合わせください。

■ニッセイ財団 高齢社会助成
Ⅰ．実践的研究助成 1 件あたり 200～250 万円程度
【締切】6/15（水）
Ⅱ．先駆的事業助成 1 団体あたり 700 万円以内
【締切】5/31（火）
【申し込み・問い合わせ】
公益財団法人 日本生命財団
〒541-0042
大阪市中央区今橋 3-1-7 日生今橋ビル 4 階
TEL:06-6204-4013 FAX:06-6204-0120
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http//www.nihonseimei-zaidan.or.jp

■公益財団法人 太陽生命厚生財団 助成事業
①東日本大震災に関わる助成
ボランティアグループ等が行う事業
1 件 20～50 万円 合計 500 万円
②事業助成〈ボランティアグループ等が行う事業〉
1 件 20～50 万円 合計 2,000 万円
③研究助成〈老人保健、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究・調査〉
1 件 30～70 万円 合計 300 万円
【締切】①5/31（火）、②③6/30（木）
【申し込み・問い合わせ】
公益財団法人 太陽生命厚生財団 事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-11-2 太陽生命日本橋ビル内
TEL･FAX:03-3272-6268
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.taiyolife-zaidan.or.jp/

☆お知らせ… 入間市社会福祉協議会では、東日本大震災により被災された方々を支援するための義援金の受付をしております。この義援金は共同募金会を通して分配されます。 5/19 現在で 5,184,494 円のご協力をいただいています。

ボランティアセンターからのお知らせ

ゆずります

★リボン

アセテート
防水リボン

幅 2～7 ㎝

手芸などにいかがですか！

（花屋さんで使用しているリボンと同じだと思います）

★エレクトーン

YAMAHA
型式 HS-8
取扱説明書あり

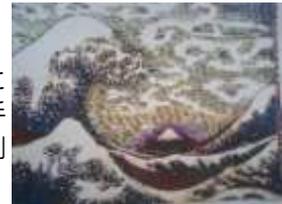
※ご相談の上
お届けします。

★英語教材 20 巻（カセットテープ、テキスト）

EIC（イングリッシュ・フォー・インターナショナル・コミュニケーション）

10 年ほど前に購入したものです。英語の勉強をしてみませんか！

★使用済み切手

使用済み切手を整理すると汚れ・折損・破れなどの切手がたくさんでます。これを利用して貼り絵作品を作ったりなど活用してください。

こんな貼り絵作品ができるかも！

ボランティアセンターへお申し込みください。（先着順にお取り扱いさせていただきます）

ボランティア活動保険

東日本大震災に対するボランティア活動保険加入について、大規模災害時における特例加入を適用しています。

この適用により、東日本大震災に関わる災害時ボランティアに参加される方がボランティア保険に加入される場合、即時の保険開始となります。（被災地への往路から保険が適用されることとなります。）

加入タイプと金額は次のとおり

A…280 円　天災 A…490 円
B…420 円　天災 B…720 円

加入には印鑑を忘れずに！！

---------- 注　意 ----------

○地震（余震）によりケガをした場合には、「天災タイプ」でなければ補償できません。
○すでに基本タイプに加入されている方でも、「天災タイプ」に加入する場合は、新規に加入いただくことになります。詳しくはお問い合わせください。

使用済み切手の整理の会　（祝日はお休み）

どなたでも参加できます。直接お越しください。

【日時】毎月第 2・4 木曜日　**13:00～15:00**
【場所】市民活動センター3 階
【持ち物】はさみ
【問い合わせ】ボランティアセンター

「みんなの手」100 号を記念して

気がついたら、いつの間にか 100 号に達していました。

わいわい がやがや…古い人も新しい人も…。現在 11 名で毎月第 4 月曜日に、イルミンの 3 階会議室で、企画編集から、仕分け、配送までのボランティア活動に取り組んでいます。

参加している人達は皆、「みんなの手」に惚れ込み、心を一つにして、役に立つ情報をお届けしようと切磋琢磨しながら、誌面づくりに励んでいます。

私達スタッフの思いは、市民のみなさんと共に歩み、手をつないで行くことです。

みんな仲良く、楽しく、そして次に繋いで行く・・・。

これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

みんなの手編集委員　西垣 寿夫

「みんなの手」は下記の場所に置いていただいています

●入間市役所（市民ホール・市政情報コーナー・福祉の店）　●市立図書館（本・分館）　●支所　●公民館　●市民会館
●産業文化センター　●健康福祉センター　●市民体育館　●児童センター　●青少年活動センター　●武道館
●博物館アリット　●リサイクルプラザ　●文化創造アトリエ　アミーゴ　●農村環境改善センター
●老人福祉センターやまゆり荘　●シルバー人材センター　●勤労者福祉サービスセンター　●入間市内の各郵便局
●市内福祉施設　●市内地域包括支援センター・在宅介護支援センター
★豊岡…丸広百貨店入間店（掲示）、入間ショッピングプラザ・サイオス、マイリゾートダイニング、U アリーナ
★宮寺…小林病院　★野田…ふらいぱんや　★下藤沢…理容ナガサワ、ヨークマート武蔵藤沢店
★久保稲荷…玄米菜食＆カフェ SAIEN
■入間市理容組合加盟店（使用済み切手の回収協力）

“みんなの手”を置いたり、掲示していただけるお店など募集しています。

社会福祉法人入間市社会福祉協議会◇入間市ボランティアセンター　〒358-0003　入間市豊岡 4-2-2（市民活動センター1 階）
TEL　04-2964-0486　FAX　04-2963-1072